

第五夜 「03-コーヒー・歌詞 其弐」

コーヒーの歌詞は時代も言語も年齢も性別も超えた、共通文化だと思っています。その文化を紐解くと、日本のポップス楽曲だけでもあまりにも広い。多くの楽曲がリストアップされた中で、今回のように「其壱、其弐、あるいは其参」と分けたのは、年代や曲のイメージをできる限りまとめてお届けしたいと考えたからです。しかしジャンルに分けることの意味にも悩みました。リストアップ曲が多い場合は、できるだけ年代でまとめることにしたのですが、時代背景が何より重要と考えました。



01-「時間とテーブル」 山崎ゆかり

No	曲名	歌手	YouTube (正規チャンネル : その他のチャンネル)
1	時間とテーブル	山崎ゆかり	残念ですが曲が見つかりませんでした。

空気公団のリーダーである山崎ゆかりのソロアルバム「風の中にうたう」からの曲です。彼女にはいくつものコーヒーソングがありますが、最初の一節が「街へ出て暖かい珈琲を一杯」。飲み物の温かさに暖かさの文字を当てる彼女流の表現でしょうか。次の節に来る「あなたにもう少しだけ もう少しだけ会いたかった」から流れ出すのは思い出と葛藤する気持ちでしょうか。生きていくって…。

02-「正夢」 SEKAI NO OWARI

2	正夢	SEKAI NO OWARI	https://www.youtube.com/watch?v=HI9Iq0GhkyM
---	----	----------------	---

SEKAI NO OWARI の最新アルバム「scent of memory」からの曲です。夢にも色々ありますが「悲しい夢」を見て目が覚めてしまったときは、その心の痛みを解ってくれる人がそばに居ただけで幸せ。眠れない朝が明るくなり始めた頃、ミルクたっぷりのコーヒーを淹れる。悪い夢が正夢にならないように、話を受け止めてくれるパートナーの存在。聴いていながら心がほっこりします。

03-「コーヒータイム」 スグナシ

3	Coffee Time	Zukunasi Shinji Miyake	残念ですが曲が見つかりませんでした。
---	-------------	------------------------	--------------------

面白い詩だな！と思ったことから始まりました。ベートーベンが珈琲豆を数えて淹れる程のコーヒー好きだったことは知られていますが、負けていません。歌詞の通りにコーヒーを淹れて過ごすコーヒータイム。幸せな時間ですね。

「水から沸きたて、鎮めたお湯で (はじめ点滴、蒸らしが要)」、これは福岡・珈琲美美さんの手ほどきです。

04-「茜色染まるころに」 Lead

4	茜色染まるころに	Lead	https://www.youtube.com/watch?v=BHrqUqMT7PA
---	----------	------	---

時代をリードできる存在になりたいと付けた名が Lead。ダンスボーカルユニットで、2002 年から活動しており、現在は3人組グループです。アップテンポで、歯切れの良いボーカルが特徴ですが、この曲では「冷めきった珈琲は いつもより 苦くて 甘いな」という詩がポイント。達人の域に達しているような味覚でしょうか。「一人雨宿りの珈琲は 苦くて、甘い」は心の有りようなのでしょう。

05-「珈琲味」 ひいらぎ

No	曲名	歌手	YouTube（正規チャンネル：その他のチャンネル）
5	珈琲味	ひいらぎ	残念ですが曲が見つかりませんでした。

ネルドリップの最初の一滴が落ちるとき、ティアドロップのような雫となります。そんな形をコーヒーみたいな涙だと表現する感性。その感性を失うことで人は大人になるのかも知れない。何を見ても新鮮な驚きが沸き上がる心の柔らかさは、失いやすいのですが、頑張れば持ち続けられるかも知れない。ひいらぎの歌声からはそんな優しさが伝わってきます。

06-「橙」 LACCO TOWER

6	橙	LACCO TOWER	残念ですが曲が見つかりませんでした。
---	---	-------------	--------------------

LACCO TOWER は群馬県伊勢崎市の出身です。関東平野のはずれにある、普通の田舎町です。しかし3年間を通った学校があり、市内の記憶も様々に多く懐かしい。私的なことで恐縮です。

コーヒーの曲として「橙」を見ると、たった一行の歌詞。「冷めた珈琲に浮かぶのは 面倒そうなその顔」。別れの言葉さえいらぬような断絶、しかし心残りは消せないようです。

07-「シンディ」 FLOWER FLOWER

7	シンディ	FLOWER FLOWER	残念ですが曲が見つかりませんでした。
---	------	---------------	--------------------

FLOWER FLOWER として最後のシングルとなった「はなうた」。力強いボーカルの出だしから気持ちが乗ります。「古いレコードの 音に溺れたい」とは、アナログな温かさにゆだねたい気持ちでしょうか。コーヒーは「冷めたコーヒーを 温めてみる」とあります。温めなおして飲むコーヒーは、香りが消え苦味が増すと思うのですが、それもソロ活動への覚悟と言えなくもない。頑張れ。

08-「いつも通りの朝」 ゴボウビ

8	いつも通りの朝	ゴボウビ	https://www.youtube.com/watch?v=q3Bp9zLsXI0
---	---------	------	---

男女3人組のグループで2018年の結成。「いつも通りの朝」はメンバーの杉江ゆりの作詞・作曲です。メンバーそれぞれの特徴がミックスされた明るく楽しい楽曲が多いようです。歌詞では「ドリップコーヒーのいい香り」からいつもの朝が始まります。こんな習慣が続く幸せをかみ締めたい。Official Videoの「LIFE」では手際の良いドリップも拝見できます。 <https://www.youtube.com/watch?v=4PleU7DgWFs>

09-「あなたとわたし」 PUFFY

9	あなたとわたし	PUFFY	残念ですが曲が見つかりませんでした。
---	---------	-------	--------------------

結成から25年を超えたPUFFYは、力みのないスタイルから好感度が高いアーティストです。デビュー曲の「アジアの純真」は楽しい言葉が溢れ出しますが、ベルリンやダブリンやリベリアがアジアかとも考えました。井上陽水の詩ですから答えはあります。この曲「あなたとわたし」でも「コーヒー賭けて じゃんけんしよう」とありますが、PUFFY作詞なのでいつものやり取りでしょう。缶コーヒーでもそれに近い詩があったような。

10-「High Heels, High Life」 BIGMAMA

No	曲名	歌手	YouTube （ 正規チャンネル ： その他のチャンネル ）
10	High Heels, High Life	BIGMAMA	https://www.youtube.com/watch?v=W7Mq1b3XGFg

八王子市発祥の男性 5 人グループで 2006 年から活動開始。このアルバム「-11℃」がメジャー移籍第一弾で、オリコン 18 位を記録。詩では「Black coffee and chocolate mint ほろ苦くて甘くて」と緩やかな余韻が続きます。ふとこの場所から自分がだんだん消えてしまうような、そんな思いが感じられるジャケットになっています。

11-「Continue」 木村カエラ

11	Continue	木村カエラ	https://www.youtube.com/watch?v=aBkgzaxfOkM
----	----------	-------	---

素晴らしい曲です。木村カエラの名前は知っていましたが、この歌唱力には驚きました。あいみよんの提供曲を彼女の心で歌い尽くしています。そういえば 2006 年に加藤和彦の NEW サディスティック・ミカ・バンドのボーカルに抜擢されたのですが納得です。この詩のイメージはまさに「あいみよん」調ですが、曲の幅が広がったように思いました。「苦味の強いコーヒー 甘く仕立ててよう少し」。木村カエラの絶唱が流れます。

12-「HAVE A GOOD TIME」 JUON

12	HAVE A GOOD TIME	JUON	残念ですが曲が見つかりませんでした。
----	------------------	------	--------------------

JUON はバンドの FUZZY CONTROL でギターとボーカルの担当でした。初のソロアルバムがこの「CHENG THE GAME」で、力のあるアーティストです。歌手で女優の「りりィ」が母とのことですが、実は彼女のファンです。「心が痛い」「カスバの女」「私は泣いています」「ジュン」などの代えがたい曲もあり、女優としては TV ドラマの名作「深夜食堂」、映画では岩井俊二監督の「リップヴァンウィンクルの花嫁 劇場版」など、印象的な作品があります。この映画では主役の黒木華や、Cocco の演技と主題歌「コスモロジー」も素晴らしかった。映画の封切年、2016 年 11 月に逝去されましたが、JUON のこのアルバムも同年の発売です。

13-「晴れた夜、雨の午後」 花＊花

13	晴れた夜 雨の午後	花＊花	残念ですが曲が見つかりませんでした。
----	-----------	-----	--------------------

花＊花は 1995 年から活動する女性デュオで、2003 年に活動を休止、2009 年から再活動しています。女性アーティストは結婚や出産という節目に活動を休止する例が多いのですが、やはり音楽にける夢は消えません。環境を整えての活動再開は嬉しいです。明るく楽しい曲が多いのですが、二人の関係が伝わる歌詞「雨の午後はいつも 2 人して 紅茶とコーヒー 愚痴と昔話 時間が優しく流れたね」。コーヒーを歌う曲も多いので何度か紹介したいと思います。

14-「Presence IV」 STUTS & 松たか子 with 3exes

14	Presence IV	STUTS & 松たか子 with 3exes	https://www.youtube.com/watch?v=Z1RrLYIDsf4
----	-------------	-------------------------	---

ドラマ「大豆田とわ子と三人の元夫」主題歌で人気の高い STUTS のアルバム「Presence」。しかし松たか子は女優としても歌手としても素晴らしいアーティストで、声も歌唱力も魅力的。「新しい朝に点てたコーヒーの苦さ 心の中に残る後悔は 浅い眠りの中で蘇る」そんな経験に彩られる豊かな人生が見えるよう。少し前のドラマ「カ

ルテット」主題歌の「おとなの掟」も良かった。主役4人の番組限定ユニットでしたが、リードボーカルが松たか子。加えて2013年のDisney映画「アナと雪の女王」主題歌の歌唱で世界を魅了しています。

15-「あまりにも素敵な夜だから」 [Alexandros]

No	曲名	歌手	YouTube（正規チャンネル：その他のチャンネル）
15	あまりにも素敵な夜だから	[Alexandros]	https://www.youtube.com/watch?v=gKG9FCpF3CI

2001年に[Champagne]として活動開始。2014年に現在の[Alexandros]に改名。その後の2015年にメジャーデビューという経歴。3作目の配信シングルが「あまりにも素敵な夜だから」で、その後ベストアルバムにも収録。NHKドラマ10「ミス・ジコチョー」の主題歌として聞き覚えがあり、題名に興味があって歌詞を調べました。さりげない詩の流れにある「I'll buy you a cup of coffee」コーヒーを一杯買う、という時間軸に惹かれました。ドラマの主役でもある教授の松雪泰子と、同じく上席教授で母役の余貴美子の緊張感あふれる演技も見応えがありました。時間軸も繋がりそうです。

16-「たしかに」 アンジェラ・アキ

16	たしかに	アンジェラ・アキ	https://www.youtube.com/watch?v=Qsd0OpwM3ww
----	------	----------	---

徳島生まれですがハワイやワシントンDCで学び、彼の地で就職するも、音楽の夢が高まり2003年に26才で日本に帰国という経歴があります。2006年に発売したファーストアルバム「HOME」がロングセラーとなり、翌年2枚目のアルバム「TODAY」でオリコン週間チャート1位を記録しています。その中の1曲が「たしかに」ですが、「さくら色」から始まる全13曲で人気が不動のものとなりました。彼女の代表曲の「手紙～拝啓十五の君へ～」は2008年のシングルですが、2015年公開の映画「くちびるに歌を」（新垣結衣主演）の主題歌や、合唱コーンクールの課題曲など、幅広く謳われる名曲です。映画では五島列島の景色が美しかった。

「たしかに」の歌詞にある「冷めたコーヒー飲み干して 今日も無口で帰りたくない」。そんな気持ち、判ります。

17-「believin'」 CHEMISTRY

17	believin'	CHEMISTRY	残念ですが曲が見つかりませんでした。
----	-----------	-----------	--------------------

CHEMISTRYの「believein'」は2005年のアルバム「fo(u)r」に収録。ラップユニットのSOFFetが提供した曲で、心地良いリズムとビートが流れます。歌詞では「朝食はいつものように コーヒー切れのパン」。普段と変わらぬ生活を営む毎日だから気付く幸せと、その朝にある一杯のコーヒーの温かさ。生きる力ともなるカップ一杯のコーヒーに、携わられた方々に深く敬意を表します。

18-「アーヴィング・ペンの花のように」 paris match

18	アーヴィング・ペンの花のように	paris match	https://www.youtube.com/watch?v=fuoeg-5-sTM
----	-----------------	-------------	---

アーヴィング・ペン(Irving Penn)は20世紀アメリカのグラフィックデザイナーであり写真家。雑誌ヴォーグのクリスマス特集号のシリーズ「フラワーズ」は特に有名で、歴史に残る写真とされています。

身の回りにある特別とも言えない花に心を寄せて歌うこの曲は、ミズノマリの歌唱により完成します。「切ない朝帰りに 挽きたての珈琲の匂いがしていた」に始まり、「甘い森で過ごすティータイムに まるでアーヴィング・ペンの花のように」。「美しく強くなれ 臆病なこの心よ」。美しい心に優しい気持ちは欠かせない。

19-「morning」 雨のパレード

No	曲名	歌手	YouTube (正規チャンネル : その他のチャンネル)
19	morning	雨のパレード	https://www.youtube.com/watch?v=M0usDXxDzj4

幸せについて考えてみる機会を与えてくれる曲かも知れません。2013 年から活動する 3 人グループのロックバンドですが、この曲「morning」はバラードとして歌詞もメロディーラインも秀逸です。さりげない朝のひと時、他愛のない触れ合いに感じる幸せは得難いもの。「どうでもいい話をしながら 苦い珈琲を君が入れる」。「朝の澄んだ光を浴びて いつも通りに食事を摂った」。こんな詩が語る日常を愛おしく思う心が大切なんだと理解されます。ありがとう。

20-「Saturday」 ミズノマリ

20	Saturday	ミズノマリ	https://www.youtube.com/watch?v=uD8O6n8az_k
----	----------	-------	---

Paris Match の曲でもあります。こちらはミズノマリのソロバージョンです。同じ歌詞なのですが聞き比べをお勧めします。「私の好きな土曜日」が繰り返し歌われますが、軽やかなリズムに乗った詩が、空にたなびくように流れていきます。こうしたイメージを表現する歌唱力は流石です。

終盤に突然現れる「珈琲が飲みたい」で我に返りました。ラストにスキヤットが流れるのですが、その余韻に染められていきます。このスキヤットのラストでは、二曲の印象がはっきり分かれています。参考までに、ライブバージョンの YouTube を付けました。楽しいです。

Saturday (Live) Paris Match <https://www.youtube.com/watch?v=beb-byBZb9A>

今回の楽曲一覧です ➡ https://www.cafegoods.com/musiclist/05_musiclist_03.pdf

前夜となる「コーヒーを謳う」でも書きましたが、アーティスト名・作詞者名・作曲者名の敬称は省かせていただきました。失礼をお詫び申し上げます。

また、記載した情報は Wikipedia や YouTube チャンネルの他、各アーティスト・音楽事務所・関連会社のホームページなどを参考にさせていただきました。改めて各位に御礼申し上げます。

尚 YouTube の楽曲は、プレミアムで聴ける曲もあるのですが記載しておりません、また YouTube の曲はアクセスが出来なくなることもありますのでご了承ください。

APPLE MUSIC にプレイリストがあります。よろしければご鑑賞ください。**“コーヒー(歌詞) 其弐”**で検索いただければ、美男のベートーベンがお待ちしております。何らかの原因でアクセスできない際はご容赦ください。

また、ご意見やご指摘、ご感想などがございましたら、下記メールアドレスまでいただければ幸いです。

ongakushitsu@cafegoods.com

© 2022.05 Cafegoods co.,ltd. 小林 文夫